

循環型経済の実現を目指す産官学協議体「サーキュラーパートナーズ」に参画

東洋紡株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:竹内郁夫、以下「東洋紡」)および東洋紡エムシー株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:森重地加男、以下「東洋紡エムシー」)は、このほど、循環型経済(サーキュラーエコノミー)の実現に向けて経済産業省が立ち上げた※1 産官学の協議体「サーキュラーパートナーズ(Circular Partners、略称:CPs)」に参画しました。



ペットボトル由来のリサイクル樹脂を80%使用した
包装フィルム「サイクルクリーン®」



水平リサイクルが可能な
三次元網状繊維構造体「ブレスエアー®」

サーキュラーパートナーズは、日本における循環型経済の実現に向け、国、自治体、大学、企業・業界団体など産官学が連携しながら、ビジョンや中長期ロードマップの策定、情報流通プラットフォームの構築などを目指す協議体です。

東洋紡グループは、長期ビジョン「サステナブル・ビジョン 2030」※2において、解決への貢献を目指す社会課題の一つに「脱炭素社会&循環型社会」を掲げています。東洋紡の主力のフィルム事業では、製品のグリーン化※3 比率を2030年度に60%、2050年度に100%とする目標に向け、ペットボトル由来のリサイクル樹脂を80%使用した包装フィルム「サイクルクリーン®」や、ペットボトル再生原料を使用したポリエステル系合成紙「カミシャイン®」などを展開。東洋紡エムシーでは、工場のVOCガスを回収・再利用する装置や、水平リサイクルが可能な三次元網状繊維構造体「ブレスエアー®」、リサイクル原料を70%以上使用したポリエステルスパンボンド不織布「エコバランス®」「エコエクーレ®」など資源循環を促進する製品を幅広く手掛けています。

東洋紡と東洋紡エムシーは今後、サーキュラーパートナーズへの参画を通じて、リサイクル原料の一層の活用やリサイクル技術の高度化といった取り組みを推進するとともに、他の会員との連携を強化し、資源循環に向けたエコシステムの形成・参画を加速することで循環型経済の早期の実現に貢献できるよう努めていきます。

※1: 経済産業省 2023年9月12日付 ニュースリリース 「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップの会員募集を開始します」
<https://www.meti.go.jp/press/2023/09/20230912002/20230912002.html>

※2: 東洋紡 「サステナブル・ビジョン 2030」 https://www.toyobo.co.jp/sustainability/group_sustainability/vision/

※3: リサイクル原料・バイオマス原料の使用や、フィルムの減容化を実現すること

以上

■お問い合わせ先

東洋紡株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

電話：06-6348-4210 E-mail：pr_g@toyobo.jp

東洋紡エムシー株式会社

経営企画部

電話：06-6348-3310 E-mail：info_tmc@toyobo-mc.jp